

令和 7 年度 第 2 回吉田支所管内の振興に係る地域懇話会概要

日 時	令和 7 年 11 月 13 日 14 時～16 時
場 所	吉田支所 2 階大会議室
出 席 者	地域懇話会委員、地域活性化アドバイザー、事務局
会 次 第	○協議事項 (1) 「地域と共に創るまちづくりプラン」(地域活性化計画・改訂版)について (2) 7 年度の「地域の魅力・活力共創事業」の現状と課題 (3) 8 年度の「地域の魅力・活力共創事業」(案)について (4) その他
主な意見等	1 「地域と共に創るまちづくりプラン」(地域活性化計画・改訂版)について 2 7 年度の「地域の魅力・活力共創事業」の現状と課題 【各委員等からの意見】 ○イベントをするにしても地域内の参加者がそもそも少ない。吉田地域は高齢者の方が多いため、インスタ等の SNS を使ってアピールしたとしても、参加してもらえないと思う。PR のあり方が問題なのではないか。 ○吉田運動場や吉田文化体育センターで行われるバレーボール大会などに便乗した企画を練るのはどうか。 ○イベントがある時に食事処・幼稚園等を紹介するようなマップを作成するのはどうか。 ○イベントに来てもらうために通学路の清掃を美化活動のような形で行えば町の美化もなされ、吉田地域に住みたいと思ってもらえるきっかけになるのではないかと。また、小学校全体での陸上記録会や、駅伝などのイベントもいいのではないかと。 【事務局】 ○SNS に代わるご高齢の方も含めて情報を得られる仕組みというのを考えていく必要がある。 3 8 年度の「地域の魅力・活力共創事業」(案)について 【各委員等からの意見】 ○草刈りに関しては、作業する場所の問題もある。せっかく吉田を知ってもらうという意味では、牧神様や、桐野利秋のような歴史的なものであれば、吉田の PR ができるのではないかと。 ○草刈り機の燃料に関して、燃料代の支給が無ければ継続性はないのではないかと。また、次につなげるということを考えると、報酬として温泉入浴券などを差し上げるといった工夫が必要だと思ふ。 ○令和 10 年 3 月で青少年研修センターが閉鎖される。青少年研修センターと協力したイベントは行えないか。 ○小学校の生徒同士でのイベントがあるといいのでは。例えば各小学校の〇年生対抗でドッジボール大会を行うなど。また、アートイベントや音楽イベントもよいのではないかと。 4 その他 【各委員からの意見】 ○本城小は、現在児童数が 22 人ほどで、そのうち半数が地元で、半数が校区外である。紫原や西田地区の方も結構来られる。小学校の児童イベントというのは、なかなか児童数の問題もあり、高学年に限定してしまうと 2 人 3 人しかいないのが現状である。対象学年の幅を広くしていただけるとありがたい。

【事務局】

○各校区小学校のイベントの関係の意見が挙がったが、8月にゴールデンパームで星空イベントを開催した際も、話の発端は地域内の小学生の交流の場として使っただけたらというご提案をいただいたのがきっかけだった。地域内の小学校の遠足の日程を合わせて、ゴールデンパームの芝の上でドッジボールやミニサッカーを行ったりするのは、実現性があるのではないか。

【野中地域活性化アドバイザー】

○この場で地区の課題や問題が解決できれば一番いいことではあるが、なかなか難しい。子供の笑い声響く吉田のまちづくりというのをテーマに掲げているのであれば、子供が喜んでくれて、たくさん来てもらうためにどうしたらいいのかということと話し合えたらいい。

○草刈りの問題に関しても非常に難しい。吉田に限らずどこの地区も同じである。きっかけづくりをこの場で考えて根本的な課題解決というのは追いつかないと思うため、なにか1つこの事業に取り組むということを決めることが大事である。